

# 週報

令和 5 年 2 月 17 日

2022~2023年度 No.25

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ

## プログラム

S A A 有川 真史君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆誕生祝

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

宮本 光藏君

☆点 鐘

現在会員					30名					前々回の欠席者(1/27)					2名	
本 日	出席	15名	欠席	8名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	4名	出席率						65.22%	
	出席	18名	MU	4名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	3名	修正出席率						91.67%	
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
	本年度	75.55	81.16	83.53	77.58	89.84	89.31	87.32								
前年度	74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49	69.74	70.51	77.60				

例会場  
例 会  
事務所  
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111  
金曜日(12時30分~13時30分)  
長崎県五島市末広町8-4  
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 才 津 喜 彦  
副 会 長 中 村 吉 廣  
幹 事 西 上 裕 一郎  
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

## 誕 生 祝

有川 真史君(昭和56年2月5日生)



藤川 博士君(昭和40年2月14日生)



## 会長の時間

会長 才津 喜彦君

皆様、こんにちは。それでは2月度第2例会25回目の会長の時間を始めます。

今週末2月19日(日)長崎出島メッセで、国際ロータリー第2740地区第9・10グループインターシティミーティング(IM)が開催されます。昨年は福江ロータリークラブがホストクラブとなり、ここカンパーナホテルで行われました。新型コロナウイルスの影響もあり開催の判断が大変難しく、懇親会を開催しない形ではありましたが、現地総数118名のご参加を頂き無事終了することが出来ました。今年は、数年ぶりに懇親会を開催する形のIMになりました。福江ロータリークラブからは14名で参加してまいります。来週の例会で藤川さんよりIMの報告があると思いますので、宜しくお願い致します。

それでは今週の「来たらおいしいイチオシ馬」の前に、前回の結果ですが推奨しました③ジャス

ティンカフェ4着でした。2番人気想定でしたが、最終的には単勝2.9倍の1番人気になっていました。内枠を生かして脚をため直線にかけましたが、今の東京競馬場の馬場は前5頭以内にはないと勝ち目のない馬場。その状態で後方から4着までもってこられたのは③ジャスティンカフェの実力かとは思いますが、かなり馬場と展開に左右される馬なので、次走G I安田記念相手がワンランク上がるとしたら厳しくなってくるのではないのでしょうか。

さて、今週は2月19日(日)東京競馬場で開催されるフェブラリーステークス(G Iダート1600m)からです。今回推奨する馬は⑬スピーディキック(5番人気想定オッズ16.9倍)。フェブラリーステークスは、JRAで行われる2つしかないダートG Iレースの内のひとつです。年に2回しか行われないダートG Iレースのため、ここに向け照準を合わせてくる馬も多かったのですが、2020年よりサウジアラビアで1着賞金が1,000万ドル(約13億円)の世界最高賞金を誇るサウジカップが開催されるようになり(2023年2月25日開催)、そちらに流れる馬が増えてきました(ちなみにフェブラリーステークス1着賞金1億2,000万)。現に昨年・一昨年の勝ち馬カフェファラオや、昨年もう一つのダートG Iレースチャンピオンズカップを勝ったジュンライトボルトもサウジカップに参戦表明しています。要するに、近年のフェブラリーステークスはレベルが低くなってきており、今年は特にレベルが低いと思います。1番人気想定10戦7勝2着3回今まで連対を外したことのない⑦レモンポップですが、主戦騎手であった戸崎騎手が2番人気想定④ドライスタウトの方に騎乗するので坂井騎手の乗り替わり。G Iでいきなり乗り替わりというのは決してプラスではないと思います。しかしながら、上位にあげられる馬とは直接対決や間接的に勝っているのが力差は歴然。その中で直接対決をしていないのが⑬スピーディキック。なぜかという⑬スピーディキックはJRA所属馬ではなく、地方の浦和競馬場所属の馬だからです。デビューは北海道門別、2歳時には地方のG Iを勝ち、3歳時には南関東牝馬3冠・桜花賞1着・東京プリンセス賞1着・関東オークス3着と安定した成績、その後も戸塚記念・ロジータ記念・東京シンデレラマイルとグレードレースを連勝し、ここへ挑んできました。ハイセイコー・オグリキャップと、地方馬が中央で活躍すると競馬界が俄然盛り上がってきます。最近、G I馬や有名ジョッキーの引退など寂しいニュースが多かつ

た競馬界、地方からの明るい光に期待をし⑬スピーディキックを推奨したいと思います。以上で会長の時間を終わります。

## 幹事報告

幹事 西上裕一郎君

### 【当クラブ関係】

#### ○第8回定例理事会報告

- ・定款細則改正委員会の設置について審議、承認されました

2022年手続要覧を基に定款細則改正を行ないます

構成メンバー

山下克己直前会長・橋本前幹事・才津会長・西上幹事・平村会長エレクト

(以上、戦略計画委員会メンバー)

中村吉廣副会長・松岡次年度幹事・張本会員 以上8名

#### ○例会休会のお知らせ

- ・次週2月24日(金)は、クラブ定款第7条第1節(d)項により例会休会

### 【地区関係】

#### ○長崎中央RCより

- ・例会変更休会のお知らせ

#### ○IM(インターシティミーティング)

- ・2月19日(日)出島メッセ長崎にて開催  
参加される会員の皆様は体調にお気を付けて参加お願いいたします。

### 【地区以外ロータリークラブ関係】

#### ○公益社団法人ロータリー米山記念奨学会より

- ・「ハイライトよねやま」275号

#### ○福江中央RCより

- ・週報第19号

#### ○ロータリー囲碁同好会より

- ・ニュースレターNo.39

## 委員会報告

## 出席報告

#### ◆2月17日(免除(a)欠席者)

中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君

#### ◆2月17日(免除(b)欠席者)

谷川 和啓君 佐々野邦久君 清瀧 誠司君  
吉田 泰之君

#### ◆2月17日欠席者

松岡 孝博君 小畑 和男君 平村 和弘君  
柳田 靖夫君 中村 吉廣君 山里 一郎君  
山下 実君 森田 大輔君 坂井 成光君  
片山 雅文君 中村 栄治君

## 親睦委員会

## スマイル報告

◇中村 栄治君 2月5日のスマイル会優勝しました。欠席。

◇宮本 光藏君 本日の卓話、ご清聴よろしくお願ひします。

◇有川 真史君 誕生祝、ありがとうございます。

◇藤川 博士君 //

○宮本光藏さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

○有川真史さん、藤川博士さん、お誕生日おめでとうございます。

○2月19日のインターシティミーティングよろしくお願ひします。

才津 喜彦君 西上裕一郎君 戸田 博之君

張本 民雄君 神之浦文彦君 山下 克己君

橋本 武敏君 三村 剛孝君 寺澤 信義君

合計 15,000円

通算合計 503,000円

## 部内卓話

宮本 光藏君



皆さん、こんにちは。

卓話の順番がきたそうで、何か話をするようにと指示がありました。少々お付き合いください。面白くもないでしょうが、五島の空の玄関口である福江空港ターミナルビル(株)の現状についてお話

させていただきます。

五島でコロナ禍の騒動が始まったのは、2020年3月末からでした。福江空港の利用者は、コロナ禍のちょうど1年前、19年4月には12,750人でしたが、コロナ騒動が始まった20年4月には2,395人へと1か月で10,355人減少しました。そして、翌月のゴールデンウィークで人々が動き回る5月は、19年15,084人だったのが、20年5月には1,473人へと13,611人(90%以上)の減少となりました。20年度の1年間でみると、19年度の年間利用者160,542人だったのが20年度の年間利用者は71,812人へと88,730人減少しました。

福江空港には、2019年まで7便の定期路線が就航していましたが、20年から古くなったORCの機材のやりくりのため1便減便され、6便となっていました。これに加え、感染警報が出され人々の動きが止まり、飛行機の利用者数が減ると運休便も増えてきました。20年度の運休便は、福岡が208便、長崎が258便、合計466便にもなりました。

空港ターミナルビルの収入は、航空会社からの手数料が主な収入源です。手数料の減に加え、売店の売上も極端に落ち込みました。お客さんは、出発前に売店でお土産を買われますが、便数の減と、お客さんの減はダブルパンチでした。飛行機が1便でも来れば、売店を閉めるわけにもいきません。島内のお土産屋さんからお預かりした商品の賞味期限が切れると、引き取ってもらおうのですが、大変申し訳なく、心が痛みました。協力して頂き、本当にありがたいと思いました。売店の売上は、20年度は前年の半分以下に落ち込みました。

会社としては、何としても島の玄関口を開け続けることを第一と考えました。それには職員の給料を払い続けることとなります。業務に必要な人員は決まっています。人数を減らすことは出来ません。全ての便が止まった時、何か月持つかまで考えました。そこで、出来ることとして組織のスリム化を図りました。2部制を1部制に見直し、課の業務の割り振りを見直しました。人件費の総額を抑制し、施設の修繕費等は可能な限り翌年度へ後回しにしました。

結果として、20年度は予算の範囲で切り抜けることが出来ましたが、5月末頃のターミナルビルの2階出発ロビーは、飛行機が来ないときは人影もなく、静まりかえっていました。いつまでこの状況が続くのか、まったく見当もつかず不安だけでした。そういった状況の中で、ANAが直接運行している福岡線が1便(Q400)あるのですが、福岡から飛んできた便に1名のお客さんしか乗っ

ていない時もありました。それでも飛ばし続けてくれました。感激でした。感謝しています。

21年度になると、利用者数はいくらか回復の兆しが見えてきました。コロナ禍の19年度と比べると20年度の約45%の落ち込みから、21年度は60%ぐらいまで持ち直してきました。ただ当時は、また新たな突然変異株が出てくるのではないかと、学校や医療、福祉施設などでの感染が報道されると不安は拭えませんでした。

22年度は順調に回復しています。しかし、就航便数は6便から5便になってしまいました。長崎線がQ200(39人乗り)3便からQ200の1便とQ400(74人乗り)1便、計2便になってしまいました。古くなったQ200から新機種のATR機の導入と訓練のためだそうです。便数は1便減りましたが、利用者数でみると、旅行を我慢していたところに国、県の旅行支援策等も相まって、1月末までのデータではコロナ禍前の79%まで回復しています。3月末までには、90%ぐらいまでの回復を期待しているところです。

定期路線に加え、FDA(富士ドリームエアライン)のチャーター便も回復しており、ターミナルの収入減を補ってもらっています。小牧、松本、広島、岡山、高知などから来ていますが、2泊3日の観光客を1回で50人から60人運んでくれるので、島内のホテル業や飲食業、お土産屋さんなど広い範囲で島内経済の好循環を引き起こしてくれています。

今年、23年7月からORCに新型機種ATR(48人乗り)が就航予定です。その後、2機目が導入され、定期路線に就航すると長崎-福江便が3便に戻ると考えております。

地域の活性化を図るため、世界文化遺産の登録や、五島列島ジオパークの認定に県、市、関係団体が取り組んできました。そして、トライアスロン大会、夕やけマラソン、椿まつり等を開催し、五島をPRしてきました。世界遺産への登録が2018年に行われ、さあこれからだという時にコロナ禍の騒動が始まり、急ブレーキが掛かりました。それから3年、やっと動きがとれるようになってきました。NHKのドラマが放送され、五島列島が注目されています。休止していた、いろいろな行事も復活しそうです。明日2月18日は、みなと公園で椿まつりオープンセレモニーがあります。地域の皆さんで盛り上げ、五島にまた行ってみたいと思ってくれる人が増えてくれればと思います。それによって、チャーター便が増えてくれれば、島が活気づいていくのでは、と思います。

空港ターミナルビルでは、利用者に身近で親しみのある空港とじてもらえるよう、七夕、クリスマス、ハロウィン等、季節ごとにロビーでの飾りつけを行っております。今は、舞い上がれのバラモン草と椿の花が飾られています。皆さんも機会があればのぞいてみてください。